

ドリップコーヒーマーカー ソリス アロマブリューワー

品番：SK1021

取扱説明書

保証書付き



この度はソリス アロマブリューワー ドリップコーヒーマーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

取扱説明書（本書）をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

- ・「安全上のご注意」をご使用前に必ずお読みください。
- ・保証書は「お買い上げ日、販売店名」などの記入をご確認の上、大切に保管してください。



もくじ

安全上のご注意	2
各部の名称	6
ボタンおよび 液晶ディスプレイ	7
お使いになる前に	8
コーヒを淹れる	10
本機を設定する	11
お手入れのしかた	13
故障かな？と思ったら	15
別売品	17
仕様	18
アフターサービス について	19
保証書	裏表紙

安全上のご注意

安全にご使用いただくために、この「安全上のご注意」をよくお読みください。
本取扱説明書は、ソリスジャパン株式会社ウェブサイトでもご覧になれます。
<https://solis.co.jp>








安全上のご注意は次のように区分しています。

 警告	誤った扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示します。











■ 図記号の例

⊘ 記号は「してはいけないこと（禁止）」の内容をお知らせするものです。

❗ 記号は「しなければならないこと（強制）」の内容をお知らせするものです。

 警告	
	コンセントや配線器具の定格を超える使用はしない 火災・感電・やけどの原因になることがあります。 ・必ず交流100V で使用する ・延長コードや電源タップを使用しない
	電源プラグは根元まで確実に差し込む 不完全な差し込みは、感電や発熱による火災の原因になることがあります。 傷んだ電源プラグ・緩んだコンセントは使用しないでください。
	電源プラグのほこりなどは定期的に清掃する 電源プラグにほこりなどがたまり、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。 電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布で拭いてください。
	電源コードに以下のことをしない 感電・ショート・火災の原因になることがあります。 ・傷つけない、無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない ・重いものをのせない、熱いものに近づけない、はさみ込まない ・加工しない、束ねたまま使用しない ・テーブルの縁からぶらさげたままにしない ・本体の高温になる場所に触れさせない ・人が通る場所を経由させない
	使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜く 火災・感電の原因になることがあります。 電源プラグを抜くときは、電源をオフにしたうえで、電源コードを引っ張らずに電源プラグを持って抜いてください。
	外部リモコンやタイマーなどを接続して使用しない 万一不意に作動すると、思わぬけが・やけどの原因となります。

 **警告**

- | | |
|--|--|
|  | 小さなお子様だけで使わせない
感電・けが・やけどの原因になることがあります。 <ul style="list-style-type: none">・幼児だけで使わせない・幼児の手の届くところで使用しない・幼児の手の届く場所に保管しない・窒息事故を防ぐため、ビニール袋などの梱包材はお子様の手の届くところに保管しないでください。 |
|  | 水などの液体で濡らさない
感電・ショート・故障の原因になることがあります。 <ul style="list-style-type: none">・本体、電源コード、電源プラグを水につけない・本体に水をかけない。特に、操作ボタン、液晶ディスプレイを濡らさない |
|  | 濡れた手で使用しない
ショート・感電・故障の原因になることがあります。 <ul style="list-style-type: none">・濡れた手で使用しない・濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない |
|  | 分解しない
火災・感電の原因になることがあります。 <ul style="list-style-type: none">・本製品を分解したり、改造したりしない・修理が必要な場合はご自分で修理しようとせず、ソリスリペアセンターに連絡する |
|  | 異常を感じたら使用を中止する
ショート・感電・故障の原因になることがあります。 <ul style="list-style-type: none">・異音、異臭を感じたら電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く・安全が確認されるまで使用しない |
|  | シンクの横など、水没する可能性のある場所では使用しない
火災・感電・やけどの原因となります。
万一水没した場合には使用を中止し、ゴム手袋を着用のうえ、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、ソリスリペアセンターに連絡してください。 |
|  | 通気口、排気口を塞いだり、布をかけて使用しない
火災・感電・やけどの原因となります。
カーテンや壁などとの間は最低でも20cm 以上の間隔を空けてください。
また、本体の上に物を載せないでください。 |
|  | 使用中、本体を揺らしたり移動したりしない
故障・けがの原因になることがあります。 |
|  | 使用中は本機のそばを離れない
コーヒーがあふれるなど、万一の事態が生じた場合に対処が遅れる原因となります。特にお子様が近くにいる場合にはご注意ください。 |
|  | 本体ふたやガラス容器などの蒸気口を触ったり、顔を近づけない
高温の水蒸気などによりやけどの原因になることがあります。 |

警告



使用中や使用直後は本体を開けたり触れないしない

使用中、本体は高温となります。ガラス容器の持ち手以外の部分(ふた、本体、ガラス容器、保温板など)には触れないでください。
また、使用後にお手入れや収納などを行う場合には本体の温度が下がるまでお待ちください。



付属品、別売品はソリス専用のものを使用する

それ以外のものを使用すると、故障・火災・感電・けがの原因になることがあります。



保温版を触らない

やけどの原因になることがあります。

注意



以下の場所では使用しない

故障やけがの原因となります。

- ・滑りやすいテーブルや作業台の上
- ・不安定なテーブルや作業台の上
- ・傾いたテーブルや作業台の上
- ・湿った、または高温になるテーブルや作業台の上
- ・熱に弱いもののそば
- ・テーブルや作業台の縁
- ・収納棚の中
- ・火の近くや高温になる場所
- ・オープン、ホットプレート、湯沸かし器など熱を発生するものの近く
- ・屋外や雨のかかる場所
- ・自動車の車内
- ・直射日光が当たる場所
- ・可動部品のある機器の近く



以下の状態では保管しない

故障の原因となります。

- ・車内など、冬期に霜が発生する可能性のある場所
- ・製品の上に物を積上げた状態



水のない状態で使用しない

水のない状態で使用すると故障の原因となります。
また、水道水以外を充填すると故障の原因になります。特に炭酸水は使用しないでください。



給水タンクに最大容量以上の水を入れない

故障の原因となります。
また、給水タンクに熱湯やぬるま湯を入れないでください。



ガラス容器を電子レンジ、オープン、ガステーブル(直火)、IHヒーターなどで使用しない

ガラス容器の破損、故障の原因となります。

注意



ご使用前に製品を点検する

異常がある場合には使用を中止してください。

- ・モーター部や電源コード、電源プラグが傷んでいないか確認する
- ・フィルターホルダーおよびガラス容器が正しく取り付けられていることを確認する
- ・フィルターホルダーにフィルターが正しく取り付けられていることを確認する



以下の場合には必ず電源を切る

故障の原因になります。

- ・電源プラグを抜き差しするとき
- ・お手入れするとき



移動する場合は電源を切る

- ・移動する場合は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
- ・電源コードを引っ張って移動しない
- ・使用中は移動しない
- ・移動中、揺すったり、投げたりしない



使用中や使用後しばらくは本体ふたやガラス容器など(高温部)に触れない
やけどの原因になる恐れがあります。

ご使用前に

本製品を使用すると、コーヒーを淹れることができます。

- ・上記の目的以外(暖房など)には使用しないでください。
- ・本製品は家庭用として設計されています。商業用には使用できません。

お願い

使い方を誤ると機器を傷めるなど故障の原因となります。

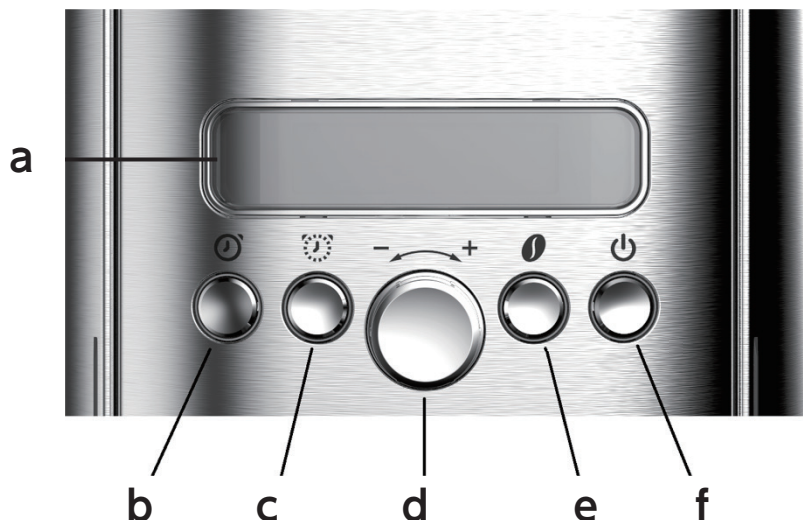
- ・本体や部品の清掃には食器洗い機を使用しないでください。

各部の名称



- ① **本体ふた**
開けると、内部にフィルターホルダーおよび給水タンクがあります。
- ② **液晶ディスプレイ**
詳しくは、「ボタンおよび液晶ディスプレイ」(7 ページ)を参照してください。
- ③ **水位目盛り**
コーヒーを抽出する前に、必ず赤色のフローターがMAX～大カップ2/小カップ3の位置にあることを確認してください。
- ④ **ガラス容器**
ここに抽出されたコーヒーが溜まります。
- ⑤ **フィルターホルダー**
ここに紙製フィルターまたは別売の金属製フィルターを取り付けます。
- ⑥ **フィルターホルダー持ち手**
フィルターホルダーの取り付け/取り外しの際は、この部分を持ちます。
- ⑦ **しずく漏れストッパー**
抽出中にガラス容器を取り外す際のしずく漏れを防ぎます。
- ⑧ **給水タンク**
コーヒーを淹れる前に、ここに水を注入します。
- ⑨ **ガラス容器ふた**
ここにしずく漏れストッパーがはまるよう、ガラス容器を正しく取り付けてください。
- ⑩ **ガラス容器ふた開閉部位**
ガラス容器ふたを開閉することができます。
- ⑪ **保温板**
コーヒーを淹れた後、ここにガラス容器を置いておくと30分間保温できます。
- ⑫ **計量スプーン(マグネット付き)**
本体に貼り付けておくと便利です。

ボタンおよび液晶ディスプレイ



- a **液晶ディスプレイ**
本機の状態が表示されます。
- b **タイマーボタン**
タイマー機能をオン/オフするときに押します。
詳しくは「タイマー機能を使用する場合」(11 ページ)を参照してください。
- c **プログラムボタン**
タイマー機能を設定するときに押します。
詳しくは「タイマー機能を使用する場合」(11 ページ)を参照してください。
- d **コントロールダイヤル**
時刻やスリープモードを設定するときに、押したり回したりします。
詳しくは「時刻を設定する」(9 ページ)を参照してください。
- e **アロマボタン**
フルボディのコーヒーを淹れるときやコーヒー粉の少ないときに便利なアロマ抽出機能を設定するときに押します。
詳しくは「アロマ抽出機能を使用する場合」(11 ページ)を参照してください。
- f **抽出/電源ボタン**
電源をオンにするとき、または抽出を開始/中止するときに押します。

お使いになる前に

初めて使用する際は、以下の手順に従って準備してください。

洗淨する

- ① 破損に注意しながら本体を箱から取り出し、すべての梱包材、固定用のテープ類を取り外す
- ② 箱からすべての付属品を取り出す
- ③ 本体ふたを開け、フィルターホルダーを取り外す
- ④ フィルターホルダー、ガラス容器を台所用洗剤とぬるま湯で洗淨し、水でよくすすいで乾燥させる
- ⑤ 本体表面を柔らかい乾いた布で拭く
- ⑥ 本体を安定した平らな場所に設置する



- 窒息事故を防ぐため、ビニール袋などの梱包材はお子様の手の届かないところに保管してください。
- 本体、電源コード、電源プラグに水やその他の液体をかけたり、水に沈めたりしないでください。
- フィルターホルダー、ガラス容器の洗淨には食器洗い機を使用しないでください。

給水タンクを洗淨する

給水タンクは取り外しができないため、タンク洗淨は本体の蓋を開けて行います。

- ① 給水タンクに水を入れる
水の量はMax以下になるよう調整してください。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込む
「ピッ」と音が鳴り、液晶ディスプレイに「00:00」が点滅表示されます。
- ③ ガラス容器をセットし、抽出/電源ボタンを押して排水する
排水が終了すると「ピーピーピー」と音が鳴り、保温時間が表示されます。
- ④ 排水が終了したら、抽出/電源ボタンを押して電源をオフにする
これでタンクの洗淨は終了です。

時刻を設定する

タイマー機能を使用するため、内蔵時計の時刻を設定します。

- 電源プラグを抜くと時刻設定はリセットされます。
- 時刻を設定しないと、液晶ディスプレイに「**△**」が表示され、タイマー機能は使用できません。

① 電源プラグをコンセントに差し込む

「ピッ」と音が鳴り、液晶ディスプレイに「00:00」が点滅表示されます。



② コントロールダイヤルを押す

液晶ディスプレイの「時間」が点滅します。

③ コントロールダイヤルを回して「時間」を合わせ、コントロールダイヤルを押す

設定すると「ピッ」と音が鳴り、次に「分」が点滅します。



④ コントロールダイヤルを回して「分」を合わせ、コントロールダイヤルを押して時刻を確定する



確定すると「ピッ」と音が鳴ります。これで時刻の設定は完了です。

コーヒーを淹れる

本体にフィルターおよびコーヒー粉をセットし、コーヒーを淹れることができます。

① ガラス容器を保温板にセットする

ガラス容器が空であること、ふたがきちんと閉められていることを必ず確認してください。ガラス容器に水などが入った状態で使用すると、コーヒーがあふれて故障・やけどにつながる可能性があります。

② 本体ふたを開け、給水タンクに抽出したいカップ数に応じた量の水を入れる

- 水を入れる際、操作ボタン、液晶ディスプレイを濡らさないよう注意してください。
- 熱湯、ぬるま湯、蒸留水、炭酸水、ソーダ水等、水以外の液体を入れないでください。
- 水を入れた後、必ず水位目盛りの赤色のフローターがMAX～大カップ2/小カップ3の間の位置にあることを確認してください。MAXの位置は約1.8ℓに相当します。

③ フィルターホルダーを本体にセットする

フィルターホルダーのでっぱり部分を本体後部の溝に合わせ、持ち手部分を持って奥までしっかりと押し込みます。

④ フィルターをフィルターホルダーにセットする

1×4サイズ(4～8杯用)、または1×6サイズ(6～12杯用)のペーパーフィルターを使用します。

⑤ 付属の計量スプーンを使い、フィルターにお好みの量のコーヒー粉を入れる

- 計量スプーン1杯につきコーヒー約100mlを目安としてください。
- コーヒー粉を入れたら、上面を軽くならして平らにしてください。
- 計量スプーンにはマグネットが付属しているため、ご使用後は本体に貼り付けて保管することができます。

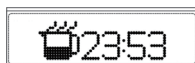
⑥ 本体ふたを閉める

⑦ 抽出/電源ボタンを押す

抽出中は、液晶ディスプレイに以下のアイコンが繰り返し表示されます。



抽出が終わると「ピーピーピー」と音が鳴り、自動的に保温モードに切り替わります。保温モード中は液晶ディスプレイに「☕」と保温残り時間が表示されます。



ガラス容器を保温板から取り外し、カップに注いでください。

- 保温モードが終了すると、液晶ディスプレイが時刻表示に戻ります。
- 途中で抽出を中止する場合は、抽出/電源ボタンを押します。
- 抽出中にガラス容器を保温板から取り外すと、しずく漏れストッパーが働きます。そのため、抽出中でも安全にガラス容器を取り外すことができます。



- 抽出後、ガラス容器の底面は高温になります。熱に弱いものの上にはガラス容器を置かないでください。

本機を設定する

タイマー機能、保温時間などを設定できます。

アロマ抽出機能を使用する場合

アロマ抽出機能を設定すると、フルボディのコーヒーを淹れることができます。また、少ない分量のコーヒー粉でも、香り豊かなコーヒーを抽出できます。

- 1 **アロマボタンを押してから抽出/電源ボタンを押す**
アロマボタンを押すと、液晶ディスプレイに「**☉**」が表示されます。
設定すると、アロマ機能を使って抽出されます。
 - 再度アロマボタンを押すと、アロマ抽出機能は解除されます。
 - 1回抽出すると、アロマ抽出機能は解除されます。

タイマー機能を使用する場合

抽出開始時刻を設定することができます。最大 24 時間後までセットできます



・時計の設定が完了していないとタイマー機能は利用できません。「時刻を設定する」(9 ページ)を参照して時刻を設定してください。

- 1 **「コーヒーを淹れる」(10 ページ)の手順①～⑥に従って、水、コーヒー粉、ガラス容器などをセットする**
- 2 **液晶ディスプレイの現在時刻が合っているか確認する**
時刻がずれている場合には、「時刻を設定する」(9 ページ)を参照して時刻を設定してください。
- 3 **プログラムボタンを押す**
 - 液晶ディスプレイに「12:00」が点滅表示されます。
 - 時刻が設定されていないと、液晶ディスプレイに「**▲**」が表示され、設定することはできません。
- 4 **コントロールダイヤルを押す**
液晶ディスプレイの「時間」が点滅します。
- 5 **コントロールダイヤルを回して「時間」を合わせ、コントロールダイヤルを押す**
設定すると「ピッ」と音が鳴り、「分」が点滅します。
- 6 **コントロールダイヤルを回して「分」を合わせ、コントロールダイヤルを押す**
確定すると「ピッ」と音が鳴ります。
- 7 **タイマーボタンを押す**
液晶ディスプレイに「**☉**」が表示され、タイマーが有効になります。

☉ 23:53

- タイマーボタンを再度押すと、タイマー機能は解除されます。
- 電源プラグを抜くとタイマー機能は解除されます。

本機を設定する(つづき)

保温時間を設定する

初期状態では、コーヒーの抽出が完了すると自動的に 30 分の保温モードに切り替わりま
す。保温する必要がない場合には保温時間を 0 分に設定できます。

- ① タイマーボタンとコントロールダイヤルを同時に押す
- ② コントロールダイヤルを回して「30:00」または「00:00」を選択する
- ③ コントロールダイヤルを押して保温時間を確定する
 - ・ 電源プラグを抜くと保温時間は30分に戻ります。

スリープモードを設定する

液晶ディスプレイを消灯させて消費電力を削減することができます。

- ① コントロールダイヤルを3秒以上押す
液晶ディスプレイが消灯します。
 - ・ スリープモードを解除するにはコントロールダイヤルを押します。
 - ・ 液晶ディスプレイの消灯中も内蔵時計は動作しています。
 - ・ スリープモード中もアロマ機能、タイマー機能、保温時間の設定は維持されます。

消音を設定する

ボタン操作時などのブザー音が鳴らないようにすることができます。

- ① プログラムボタンとコントロールダイヤルを同時に3秒以上押す
液晶ディスプレイが消灯します。
 - ・ 再度プログラムボタンとコントロールダイヤルを同時に3秒以上押すと、消音は解除されます。

お手入れのしかた

ご使用後のお手入れ

ご使用後は以下の手順に従い、毎回お手入れしてください。



- お手入れの際には必ず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、本体の温度が十分に下がるまで待ってからお手入れを開始してください。
- ベンジンやアルコール、シンナー等の溶剤、研磨剤の入った洗剤、金タワシは使用しないでください。製品表面を傷つける可能性があります。
- 本体、電源コード、電源プラグを水またはその他の液体につけたり沈めたりしないでください。
- ボタンおよび液晶ディスプレイが濡れないよう注意してください。
- 本体と付属品は食器洗い機には対応しておりません。



- ① 本体ふたを開け、フィルターおよびコーヒー粉を取り除く
- ② フィルターホルダーを本体から取り外し、洗剤を混ぜたぬるま湯でよく洗った後、すすぐ
- ③ ガラス容器内部およびふたを水ですすぐ
ガラス容器の中にコーヒーを残しておかないようにします。
汚れがひどい場合には、ガラス容器の中に洗剤を混ぜたぬるま湯を入れ、毛の柔らかいブラシで軽くこすってください。
- ④ 本体表面および保温板を軽く湿らせた柔らかい布で拭く
- ⑤ フィルターホルダー、ガラス容器が完全に乾いたら、本体に取り付ける

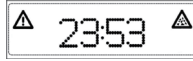
■ 本機の保管方法



本機を保管する場合は、温度が十分に下がるまで待ってから洗浄、乾燥させ、直立させた状態で保管してください。お買い上げ時の箱に入れての保管が理想的です。保管中は製品の上に物を置かないでください。

お手入れのしかた(つづき)

水あかの除去

本製品には水あかを取り除く時期をお知らせする機能があります。液晶ディスプレイに「」 「」が表示されたら、以下の手順に従って速やかに水あかを除去してください。



- ① 給水タンクの満水位置まで冷水2/3 (1.2ℓ)、酢1/3 (600mℓ)の割合で混ぜた液体を入れる
- ② フィルターホルダーおよびガラス容器を本体に取り付ける
- ③ 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにする
- ④ 抽出/電源ボタンを押す
給水タンクからガラス容器へ排出が開始されます。
- ⑤ 給水タンクの1/3の水量が排出されたら電源をオフにし、そのまま1時間ほど待つ
- ⑥ 1時間経過したら、再度電源をオンにして抽出/電源ボタンを押し、残りの水量をすべて排出する
- ⑦ 排出が終わったら、給水タンクとフィルターフォルダーを数回水ですすぐ
- ⑧ コントロールダイヤルとアロマボタンを同時に3秒以上押す
液晶ディスプレイの「」 「」が消灯します。
- ⑨ 電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜く
本体の温度が十分に下がったら、「ご使用後のお手入れ」(13 ページ)に従ってお手入れしてください。



・市販の水あか除去剤を使用する場合は、本製品に対応しているか確認してください。

故障かな?と思ったら

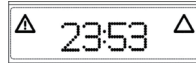
現象	考えられる原因	対応
本体が作動しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
	本機の電源が入っていない。	抽出/電源ボタンを押して電源をオンにしてください。
コーヒーのしずくが保温板に落ちる	しずく漏れストッパーが機能していない。	フィルターホルダーにぬるま湯を入れ、しずく漏れストッパーを押しながら湯通しして洗浄してください。
コーヒーが抽出されない	ガラス容器が正しく取り付けられていない。	ガラス容器を保温板の正しい位置にセットしてください。
フィルターからコーヒーがあふれる	フィルターホルダーが正しく取り付けられていない。	フィルターホルダーのどっぴり部分を本体後部の溝に合わせ、持ち手部分を奥までしっかりと押し込んでください。
	フィルター内のコーヒー粉末の量が多すぎる。	コーヒー粉末の量を減らしてください。
コーヒーの味が悪い	使用したコーヒー豆が製品に合っていない。	ペーパーフィルター用のコーヒー粉を使用してください。
	使用後のお手入れが不十分。	使用後は「ご使用後のお手入れ」(13 ページ)を参照してお手入れしてください。
抽出に時間がかかる	水あかが付着している。	「水あかの除去」(14 ページ)を参照してお手入れしてください。
ガラス容器からコーヒーがあふれる	給水タンクに水を入れすぎた。	給水タンクには「MAX」を超える量の水を入れないでください。

上記の対応で問題が解決しない場合は、ソリスお客様相談窓口にご連絡ください。

故障かな?と思ったら(つづき)

空焚き防止機能が働いた時は

給水タンクに水を入れない状態で使用すると、自動的に空焚き防止機能が働きます。空焚き防止機能が働くと、液晶ディスプレイに「△」「△」が表示され、すべてのボタンが点滅します。



本機能が働いている間、すべての機能は使用できません。温度が十分に下がると「△」「△」の表示が消え、ふたたび使用できるようになります。

別売品

オプションとしてメタルフィルターを販売しています。メタルフィルターを使用すると、ペーパーフィルターが不要となるため経済的でゴミの削減にもつながります。アロマブリューワー用メタルフィルター（品番：SKA70056）のご購入につきましては、ソリスジャパン株式会社またはソリスお客様相談窓口までお問合せください。



仕様

品名	ソリス アロマブリューワー
品番	SK1021
消費電力	950W
電源	AC100V 50/60Hz
電源コード長さ	1m
方式	ドリップ式 (保温式)
給水タンク容量	1.8ℓ
ペーパーフィルター	1 × 4 (4 ~ 8 杯用) または 1 × 6 (6 ~ 12 杯用)
質量	約 2.85kg
外形寸法	約 21.0 x 37.0 x 27.5cm
生産国	中国

アフターサービスについて

修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に「故障かな?と思ったら」(15 ページ)に記載されている内容をご確認いただき、異常があるときは直ちにご使用を中止し、お買い上げの販売店にご依頼ください。

保証期間中の場合

お買い上げの販売店へ保証書を添えて、本体をご持参ください。

保証期間を過ぎている場合

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

当該製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。

ソリスお客様相談窓口

電話 : 03-6420-3053

Fax : 03-6420-0866

受付時間: 9:30 ~ 17:30 (平日のみ)

ソリスジャパン株式会社

〒153-0064 東京都目黒区下目黒 2-18-3 目黒第一花谷ビル 501

修理についてのご質問

ソリスリペアセンター

電話 : 049-281-2712

Fax : 049-281-1974

受付時間: 9:30 ~ 17:00 (平日のみ)

〒350-0269 埼玉県坂戸市にっさい花みず木 5-7-3

